

令和6年 第3回（6月） 筑紫野市議会定例会
【総務市民委員会 委員長報告】

『議案第36号 筑紫野市子ども医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

本件は、子どもの健康保持、子育て家庭の経済的負担軽減を目的として、令和6年10月より3歳児から中学生までの子ども医療費の助成内容拡充を図るため、関連する3つの条例の一部を一括改正するものです。

委員会では、医療費の助成について拡充内容が示されたが、その根拠は何か、との質疑があり、執行部からは、筑紫地区で協議を経た上で決定している、との答弁がありました。

また、一委員から、今後、筑紫野市をアピールするために子ども医療費の自己負担額を無料化する考えはないのか、との質疑があり、執行部からは、筑紫地区の動向をしっかりと注視しながら、適切に精査していきたいと考えている、との答弁がありました。

また、一委員から、今回拡充された助成内容は夜間の小児救急等においても適用されるのか、との質疑があり、執行部からは、外来の時間を問わず助成内容は適用されるが、大病院等をかかりつけ医の紹介状なしに直接受診した場合に係る選定療養費は、助成対象となる子どもであっても、別途自己負担が生じる場合がある、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。

令和6年 第3回（6月） 筑紫野市議会定例会

【総務市民委員会 委員長報告】

『議案第44号 令和6年度筑紫野市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

本件は、令和6年度から令和9年度までの集団健診業務委託に係る債務負担行為として1億1,573万4千円を計上するものです。

委員会では、集団健診の予約受付業務を新たに委託することだが、これまでと比較し、どのような改善を見込んでいるのか、との質疑があり、執行部からは、現在は、申込はがき及び市ホームページの申込フォームによる予約受付となっており、予約日時の決定や通知に日数を要しているが、電話及びインターネットでの申し込みによる即時予約が可能となるため、市民の利便性の向上や、職員の業務負担の軽減が図られるものと考えている、との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、全員一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。

令和6年 第3回（6月） 筑紫野市議会定例会
【総務市民委員会 委員長報告】

『請願第2号 女子差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を国の関係機関に求める意見書提出に関する請願』の件について、審査の経過と結果をご報告いたします。

委員会では、まず、本件に関して紹介議員である辻本議員から補足説明を受け、委員から、選択議定書の批准について、日本が遅れている要因は何か、との質疑があり、紹介議員からは、選択議定書を批准した場合、法制度を変える必要もあり、司法の分野で賛同が得られていないことが大きな要因であると考えている、との答弁がありました。

また、一委員から、選択議定書を批准することでどう変わるのか、との質疑があり、紹介議員からは、女子差別撤廃条約を批准する際に、国籍法、男女雇用機会均等法が改正され、また、学習指導要領の改正により、家庭科が男女共修になりました。選択議定書の批准により女子差別撤廃条約が補強されることで、国連に対し、調査、通報を申し出ることができること、国際的な基準で物事が判断されるようになることが考えられる、との答弁がありました。

次に、執行部から、本市の女性に対する差別撤廃に向けた取り組みの現状について、ちくしの男女共同参画プランや筑紫野市男女共同参画推進条例に基づき、積極的な取り組みを推進してきたが、令和3年に実施した市民意識調査の結果を受け、女性に対する差別撤

廃に向けた被害者支援の取り組みを充実させる必要があると捉えており、女性の人権侵害を防止する啓発や、人権侵害を受けた被害者への支援等を、重要な施策として取り組んでいる、との説明を受け、審査を行いました。

意見、討論はなく、採決の結果、全員一致をもって採択すべきものと決しました。

以上、報告を終わります。